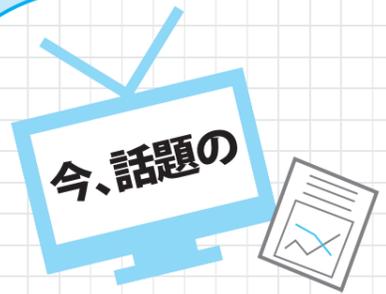


3ページには
政務活動費も



公開しています
政務活動費



政務活動費とは、日本における地方議員が政務調査研究等の活動のために支給される費用です。政務活動費の詳細は、各自治体の条例により定められており、議会の会派または議員に対して支給されます。交付額や交付方法については、自治体により異なりますが、共通している正当な支出は議員活動の範囲に関する書籍等の購入費、議員研修会に参加するための費用、先進地視察の諸経費などです。

燕市議会の場合、交付額は会派（所属議員が1人の場合を含む）に対して、会派の所属議員数に月額1万2,000円、12ヵ月分を一括して交付しています。なお、残額がある場合は返還することになっています。



議会ホームページでは平成19年度からの政務活動費の収支報告を見ることができます

会派別交付状況(平成27年4月～平成28年3月)

内 訳	会 派 名 会派議員数										合計 (=議員数)
	輝翔会 8人	大河の会 3人	市民 クラブ 3人	日本共産党 議員団 3人	公明党 議員団 2人	スワロー クラブ 2人	流水舎 (H27.9まで) (2人)	山崎光男 1人 (H27.10から 無所属へ)	タナカ・ キン 1人 (H27.10から 無所属へ)	田辺 博 1人	
収入の部											
政務活動費交付額	1,152,000	432,000	432,000	432,000	288,000	288,000	144,000	72,000	72,000	144,000	3,456,000
雑入(預金利息)	69	27	16	58	31	11	0	0	3	16	231
会派等負担額	0	15,468	0	0	0	268	0	8,304	0	0	24,040
合計①	1,152,069	447,495	432,016	432,058	288,031	288,279	144,000	80,304	72,003	144,016	3,480,271
支出の部											
調査研究費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修費	1,111,334	447,495	339,588	17,860	129,260	288,279	0	78,460	0	88,050	2,500,326
広報費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55,760	55,760
広聴費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資料作成費	0	0	0	0	0	0	210	0	40	0	250
資料購入費	0	0	0	74,644	0	0	73,639	1,844	63,711	0	213,838
人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務所費	0	0	0	13,928	0	0	0	0	0	0	13,928
合計②	1,111,334	447,495	339,588	106,432	129,260	288,279	73,849	80,304	63,751	143,810	2,784,102
差引(①-②)	40,735	0	92,428	325,626	158,771	0	70,151	0	8,252	206	696,169
政務活動費返戻金	40,666	0	92,412	325,568	158,740	0	70,151	0	8,249	190	695,976
預金利息戻し入れ	69	27	16	58	31	11	0	0	3	16	231

シツテクダサイ・ギカイノ・コト

一般会計 9,006万5,000円を増額補正

ピックアップ 1 児童福祉
総務費

25万1,000円 [子育て支援課]

市は、「燕市幼稚園・保育園適正配置実施計画」を基に、燕市立つぼみ保育園と吉田西大田保育園の2園を民営化する計画を示した。これにからみ受け手となる事業者の選定を行う「事業者選定委員会」開催に伴う委員謝金などを計上。

問 選定委員会の構成や委員謝金の金額と、何回の開催を想定しているか。

答 「適正配置実施計画」では、各地区内に1～2園の民営化を進めると明記しているが、現段階では、全ての保育園を民営化することは考えていない。

答 児童福祉・幼児教育の学識経験者や、法人組織の財務分析ができる知識人のほか、児童委員・保護者代表・まちづくり協議会代表・園長会代表の計9人である。謝金は学識経験者・知識人それぞれ1万5,000円、その他は5,000円で4回の選定委員会を想定している。

問 今後も順次保育園の民営化を進めていくとうたっているが、最終的には全部民営化に移行させていくのか、その方向性については。



燕市立つぼみ保育園

ギンガ・ナニヨ・キイタノカ・ケイカヨ・ゴランクダサイ

ピックアップ 2 地域 子育て応援団
育成事業委託料

90万円 [健康づくり課]

核家族化や地域のつながりが薄くなり、子育ての知識や経験を伝え、活用することが難しくなっていることから、シニア世代を対象に開催される「子育て応援団育成講座」の費用として計上。

問 講座開催場所や回数は。

答 2世代・3世代同居世帯の多い地域や、地域のネットワークがある地域などを考慮し、3回程度を予定している。

ピックアップ 3 社会福祉費
基金積立金

1,070万円 [社会福祉課]

社会福祉のため寄附金を、社会福祉事業基金に積み立てるもの。

問 これまでの基金活用事例は。

答 平成27年度は吉田シニアセンタートイレの洋式化、また27・28年度は広報紙の音声訳のパソコン購入など、寄附をいただいた趣旨を生かし、高齢者や障がい者のために使わせていただくもの。

こうなります・こうなりました

ピックアップ 4 燕市 国民健康保険
税条例の一部改正

医療費高騰による赤字続きの国保会計正常化のため改正。

問 改定による税収の増加はあるか。

答 7月の本算定で1,130万円増が見込まれるが、減額世帯数の増による差し引きで、880万円の増加を想定している。

ピックアップ 5 旧燕工業高校
請負契約の締結

広域型特別養護老人ホーム(100床)建築のため解体。

問 当初5億8,431万円の予算計上だったが、3億7,908万円での契約となった理由は。

答 市街地でないために解体が容易であり、今回は予定価格の70.12%で落札できた。